



令和7年1月6日（月）
尚徳福祉会 井荻保育園

明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。

新しい1年が始まりました。ご家族でも、よいお正月を迎えられたことと思います。ごちそうにお年玉など、子どもたちにとってとても楽しいお休みだったことでしょう。今年も、子どもたちの成長の一瞬一瞬を見つめ、支え伸ばしていけるように、そして、共に元気に過ごせる事を楽しみにしています。笑顔溢れる1年になりますようにお祈り申し上げます。先日、5歳児クラスの子とほいくまつりに公会堂へ行って来ました。

公会堂へ行くと、他園の5歳児クラスもたくさん観劇に来ていて、その雰囲気にはたいよう組の子どもたちもドキドキワクワクしている様子でした。劇団 角笛の影絵「すてきな3人ぐみ」のお話しも良く聞いている様子で、迫力もある観劇では、良い文化の提供を受けると共に、他保育園との親睦を深めていきました。



～絵本の読み聞かせが牛み出すもの～

寝る前の絵本だけは「1日2冊読む」とお子さんと楽しい貴重な時間を大切にしているご家庭もあるか
と思います。その読み聞かせの成果で人の心を思いやれる子に育っていますというお子さんも多いかと思
います。ただ、それはその子の個性かもしれません。また、下の子に読み始めると、あっちに行き、しまいは
いつも「虫の図鑑を読んで」と言うので「はい、ダンゴムシがいるね」とだいたいいつも寝る前は図鑑を持っ
てくるので、今は何百種類というカエルを1つずつ読まされます。というお子さんもいるかと思います。お
子さんが今何に興味があるかに気づけるのも、本の良さですね。

絵本に描かれているのは、想像の世界。読み聞かせをしてもらう体験で想像力が育まれます。想像力は「より良い方を見る力」でもあり、子どもたちが幸せになる為に欠かせません。ですから、保育の現場では豊かな想像力が養える環境をつくりたいです。幼児さんになると、お友だち同士の「フワフワ言葉」「チクチク言葉」（相手が嫌がる言葉は使わず、相手がうれしく思う言葉を使いましょう、など）をお話していますが、「〇〇ダメ」というのではなく「感じる心」を育ててあげたい。保育者が、絵本や遊びを通して子どもと心を通わせる。そして、一緒に楽しい時間を過ごし、身近な幸せを感じる。本当にシンプルに子どもと「今の世の中の美しさ、身近な楽しさとともに喜び合える関係」になればと思います。



おねがい

●「園のしおり」重要事項説明書にも記載してある通り、お迎えをいつもと違う方に頼む時は、前もって保育園にお知らせください。（連絡を受けていない場合、お子さんをお渡しすることができません）ご協力お願い致します。

●保育園で起きた怪我で受診をした際、マイナ健康保険証をお持ちの方は園でお預かりできません。マイナ保険証をご利用の方は、保護者の方に、後日清算をお願いする事になります。

御迷惑をお掛けしますが、よろしくお願いいたします。

主任のひとりごと

現在3歳児クラスの担任をしている 　　です。
12月から主任を兼任することになりました。園長先生をはじめ主任、職員の人々と一緒に子どもたちが楽しく過ごせる環境、保護者の皆様が安心して預けられる園を目指していきます。よろしくお願いいたします。

令和7年度 保育園等利用継続申出書 提出について

来年度の継続の書類は、区より各家庭へ郵送されます。**令和7年2月3日（月）までに保育園事務所へご提出ください。**